

令和5年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 湯川 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語、数学、英語）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）

教科に関する調査（国語、数学、英語）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

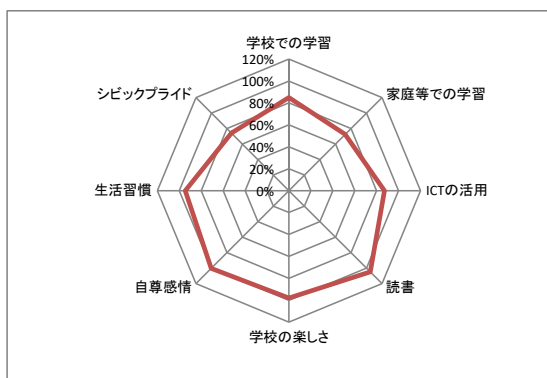
(1) 全国・本市の学力調査（国語、数学、英語）の結果

本年度の結果	国語		数学		英語	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	10.3	69	7.3	49	6.8	40
全国	10.5	70	7.6	51	7.7	45

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	書くこと、情報に関する事項については全国平均を上回っていた。その他の領域も全国平均に近い正答率であった。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題	
	努力が必要な問題	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる問題	
数学	全体的な傾向や特徴など	データの活用の領域を除き、その他の領域の正答率が全国平均を下回る結果になった。とくに数と式、関数の領域の結果が低い正答率であった。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる問題	
	努力が必要な問題	数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる問題、問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる問題、ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる問題	
英語	全体的な傾向や特徴など	全体的に若干ではあるが、すべての領域の正答率が全国平均を下回る結果になった。すべての領域において底上げが必要となる結果であった。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる問題	
	努力が必要な問題	情報を正確に「聞き取る」「読み取る」ことができるかどうかをみる問題、「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<p>○「将来の夢や目標を持っていますか」の項目では、若干ではあるが、全国平均を上回る結果となった。</p> <p>○「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問項目では、1時間以上の割合では、全国平均65%に対して本校の学習時間は、50%と少ないため、学習に取り組む習慣づくりが必要である。</p> <p>○「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の質問項目で活用が少ない傾向にあった。</p>

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

各教科の授業の他に、国語・数学・英語を中心とした補充学習を通して学びを深める取り組みを行っている。基礎・基本の定着を図るため、わからない問題に関しては、生徒どうしで教え合う活動を行っている。この取り組みを継続して行い、更なる学力向上に努めたい。

② 家庭生活習慣等に関する取組

学習習慣を身に付ける取り組みとして、本校では、1日1ページの自主学習ノートを行っている。その中から、よくまとめられている生徒の自主学習ノートを全体に掲示し、それを参考に、自分の自主学習ノートを改善するという取り組みを行った。ケータイやスマホの使用時間が長く、学習に影響している生徒もいる。学習に取り組む時間確保と学習の質を高めることが求められる。